

世界が進むチカラになる。



金利リスクの計量化・ALM導入支援 コンサルティング

2024年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

1. ALMとは

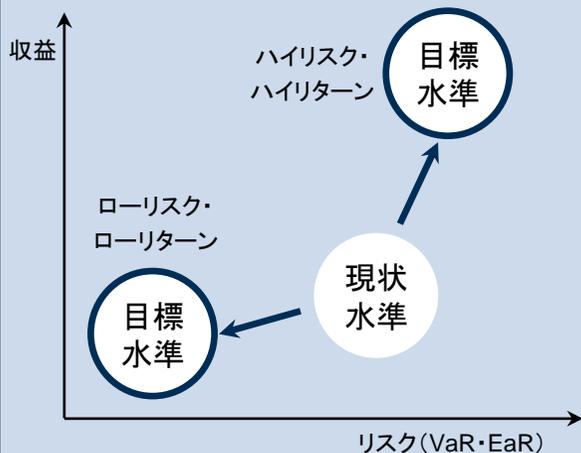
- ALM(資産負債の総合管理)は、資産・負債のバランス、リスク・リターンのバランスの観点から、企業のバランスシート全体のコントロールを目指す取り組みです。
- これからの「金利のある時代」に向けて、今まで以上にALMの巧拙がB/Sのリスク・リターンに影響を及ぼすことから、各企業が自社に適したALMを検討し、資産・負債の金利構成・期間等を見直す必要があります。

ALMとは
(Asset Liability Management)

バランスシート上の資産・負債に内包された市場リスク、信用リスクに起因する損益変動リスクを計測し、資産・負債構成の見直し等を通じて企業価値の向上を目指す取り組み

①リスク・リターンの把握

目標リスク・リターン水準と現状のギャップを把握



②施策検討シミュレーション

施策別のリスク・リターンを比較検討
⇒ALM方針の設定

資産
施策

- 固定・変動金利貸出構成比の変更
- 貸出の短期化・長期化
- 外貨資産の増加・減少

負債
施策

- 固定・変動金利調達構成比の変更
- 固定金利調達期間の短期化・長期化

③モニタリング

定例的リスク・リターン把握

- ⇒ALM方針に即した運営を検証
- ⇒市場環境変化に応じた見直し

VaR: Value at Risk(資産の予想最大損失額)

EaR: Earning at Risk(期間損益のブレ)

2. ALMの活用目的

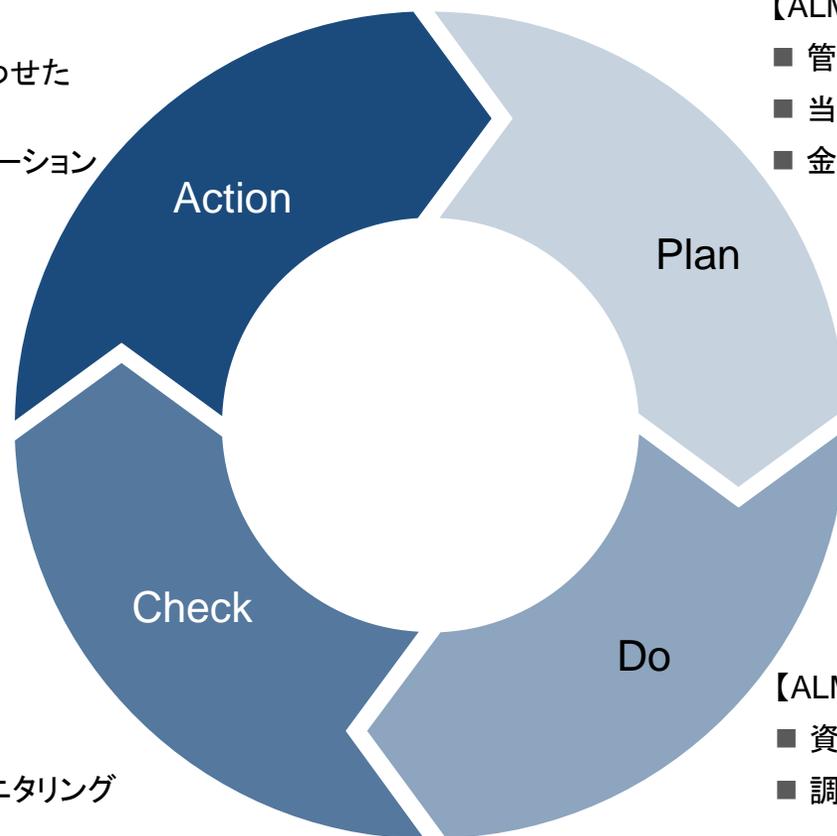
- ALMでは、定期的に把握するリスク・リターンの管理指標に基づくPDCAサイクルを適切に運用することが重要です。

【バランスシート改善】

- 金利市場動向、B/S構造変化に合わせた調達・運用計画の見直し
- デリバティブ等によるヘッジ・オペレーション

【モニタリング】

- 金利変動状況のモニタリング
- 管理指標に基づくリスク・リターンモニタリング



【ALM計画の策定】

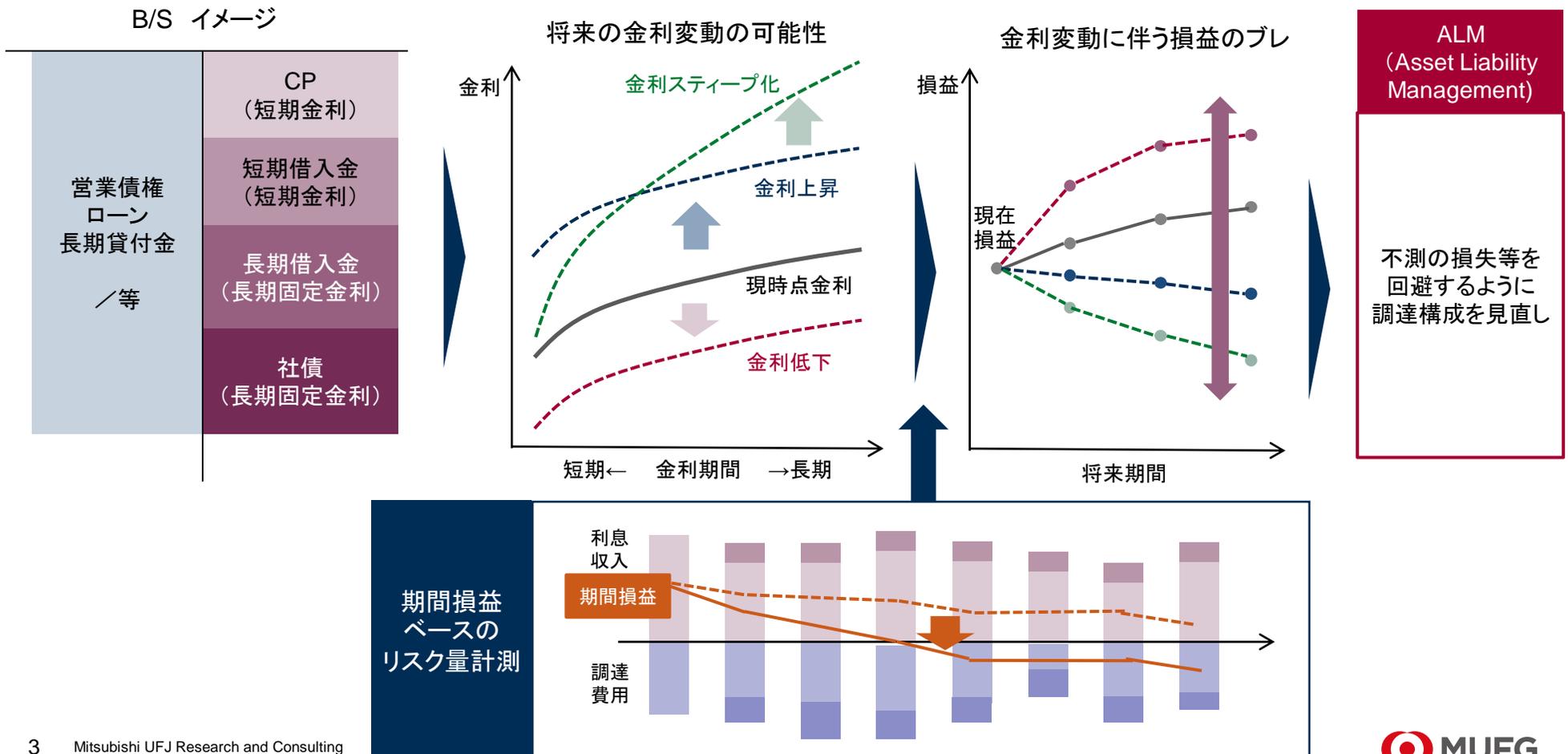
- 管理指標に基づく最適な資産・調達構成の分析
- 当期中の調達計画・資産運用方針の策定
- 金利変動を想定したストレステスト / 等

【ALM計画に基づく資産・負債コントロール】

- 資産運用における期間・金利種類構成の見直し
- 調達における期間・金利種類構成の見直し

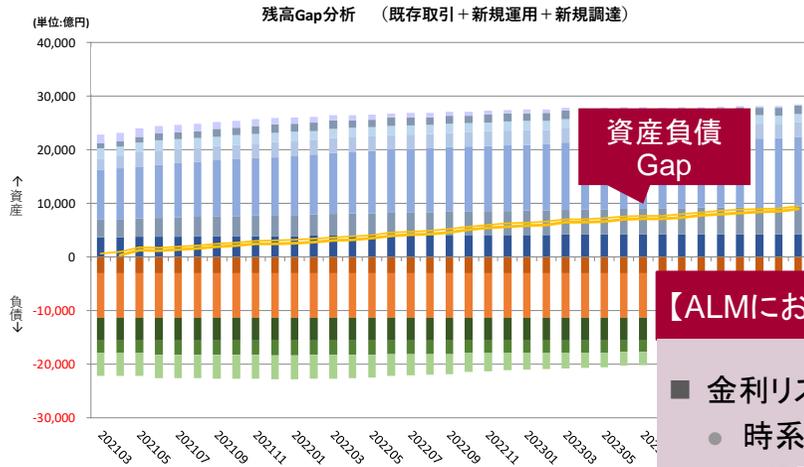
3. 市場リスク管理手法

- 金利等の市場変化に対して、貸出等の資産サイドと、社債・借入金等の負債サイドの受ける影響をバランスし、市場変化に強い資産・負債構成を目指すことが重要です。
- そのためには、多種多様な金利構成を持つクレジット資産に対して、調達構成に応じた金利等の変動に対するリスク量（金利リスク量）を計測し、適切な調達構成を目指すALMの取り組みが必要です。

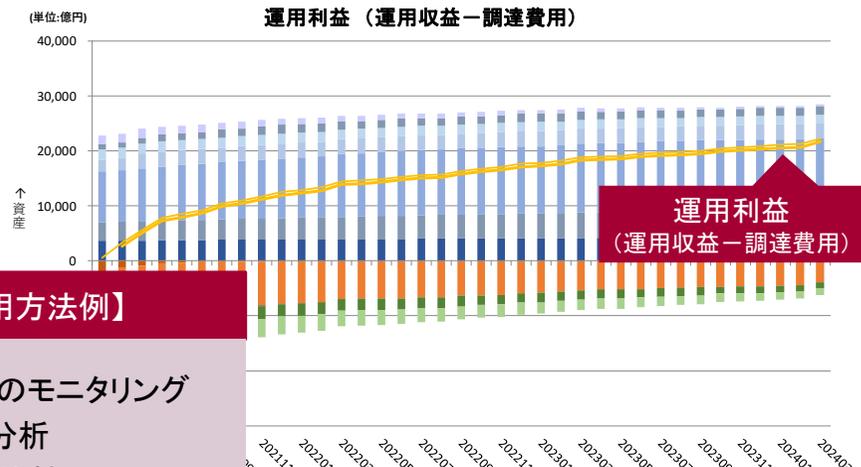


4. 金利リスク量計測のアウトプットイメージ

資産・負債ラダー



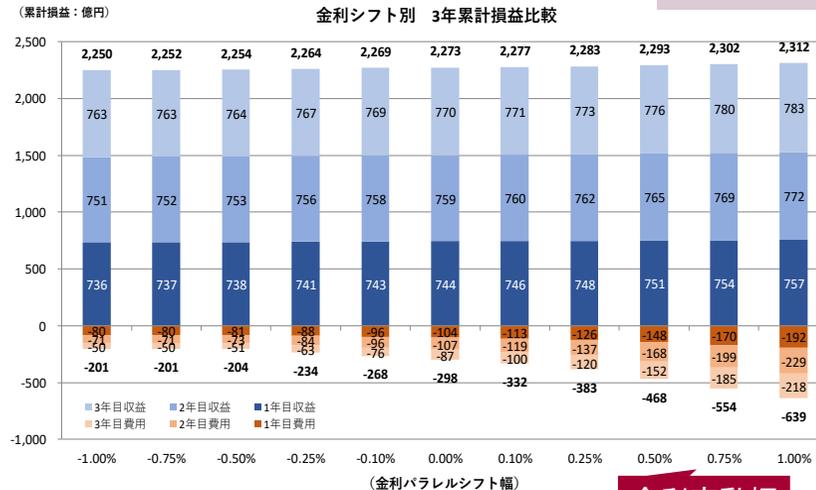
運用利益見通し



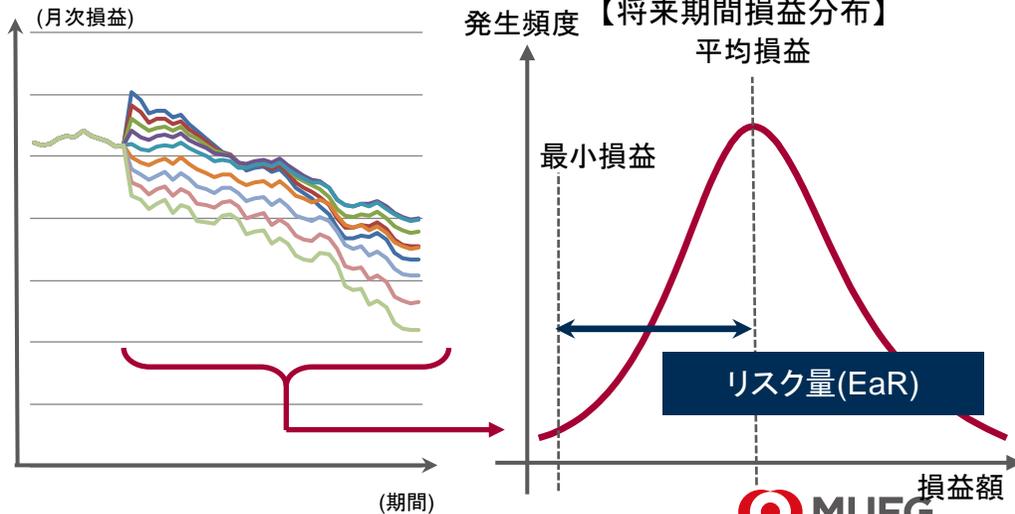
【ALMIにおける活用方法例】

- 金利リスク状況のモニタリング
- 時系列比較分析
- B/S計画との比較
- 調達計画への活用

損益の金利感応度

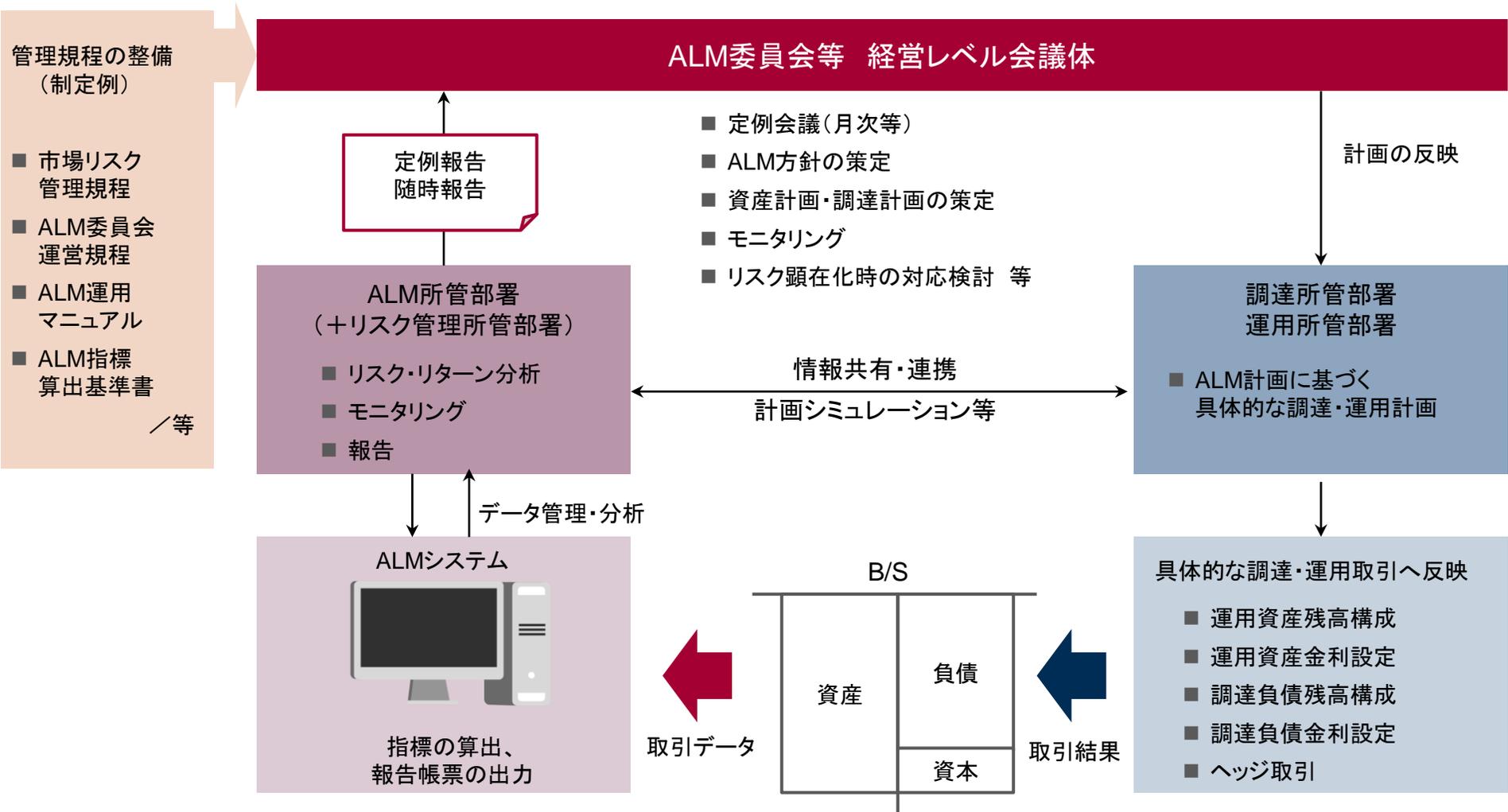


EaR



5. ALM運営の態勢整備

■ 社内でALMを適切に運営するためには、組織体制、データ・システム、規程類等の態勢整備が必要です。



金融戦略室コンサルティング・サービスの特徴

計量化に基づく コンサルティング

- リスク管理態勢の高度化は、リスク量を「見える化」することが第一歩であり、高度化に向けて社内意識を共有するための重要なカギになります
- 金融機関での収益・リスク計量化ノウハウをベースとして、さまざまな計量化手法を考慮し、企業全体や事業部別・拠点別等必要な管理単位での適切なリスク・リターン計量化を支援します
- リスク・リターン状況を見ながら、リスク特性や脆弱性に応じた管理態勢高度化をご支援します

金融機関における ノウハウの活用

- 金融機関は、金融規制強化の影響もあり、リスク管理の高度化が大きく進展しました
- MURCでは、メガバンク・地方銀行を中心とする金融機関において、豊富な収益・リスク管理態勢の高度化支援コンサルティングの実績を有しており、金融機関での収益・リスク管理ノウハウを活用したご支援が可能です
- 金融機関ノウハウに基づくモデル・テンプレート等をご提供可能です

Excel等の ツール作成も可能

- 定期的なリスク管理のためには、リスク管理・計測システム等の活用が望ましいケースもありますが、その場合、比較的大きなシステム投資負担も必要になります
- 手法や計測範囲によりますが、Excel等のPCツール(EUC)で管理した方が投資負担や柔軟性の観点から活用しやすい場合もあります
- MURCでは、金融機関でのEUCツール構築ノウハウを活用し、リスクの状況を計測するためのExcel等のPCツールを構築・ご提供することが可能です

関連ニーズへの 対応

- MURCは総合シンクタンクとして、収益・リスク管理を起点としたさまざまなニーズに対応可能です
→計画策定・経営資源配分、ガバナンス強化、気候変動リスク、BPR 等

お問い合わせ

コンサルティングのご依頼・ご相談は、以下のボタンをクリックください。
お問い合わせページに移動しますので、必要事項を記入ください。



お問い合わせはこちら



<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nekf-ldkqpe-1648b29f41f462760deae4cdc248144>



—本資料のご利用に際して—

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、作成者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください

本資料に関する問い合わせ先: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 コンサルティング事業本部 <https://www.murc.jp/inquiry/>

当社概要

三菱UFJリサーチ&コンサルティングは、三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)のシンクタンク・コンサルティングファームです。東京・名古屋・大阪を拠点に、国や地方自治体の政策に関する調査研究・提言、民間企業向けの各種コンサルティング、経営情報サービスの提供、企業人材の育成支援、マクロ経済に関する調査研究・提言など、幅広い事業を展開しています。

 **会社概要はこちら**

<https://www.murc.jp/corporate/about/>

当社コンサルタントによる知見発信

出版物（一部抜粋）



<https://www.murc.jp/library/publication/>

当社コンサルタント出演のテレビ番組

BSテレビ東京 特別番組
「日本はこうなる!?
～2024年を生き抜くビジネス戦略～」
(2023年冬)



https://www.murc.jp/kounaru_2024/

WEB上での情報発信

**コンサルティング
レポート**

<https://www.murc.jp/library/report/>



**Quick
経営トレンド**

https://www.murc.jp/library/tags/tag_593/



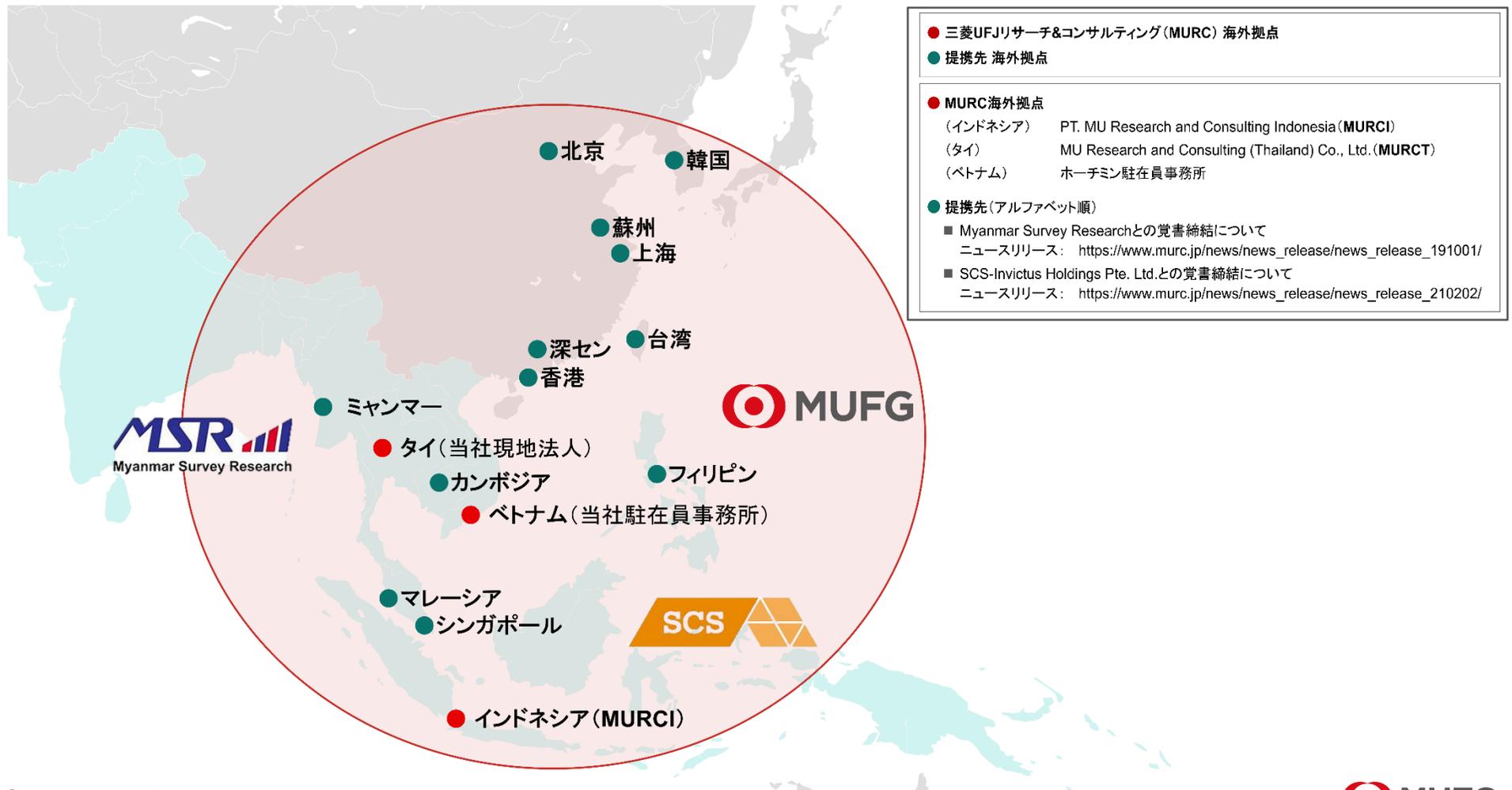
**オンラインセミナー
過去動画**

https://www.murc.jp/information/seminar/w_230414/



ASEAN地域におけるコンサルティングサービスネットワーク

- 当社はかねてよりアジアを重点市場としてとらえ、ASEANの3か所に拠点をもち、コンサルティングサービスを提供しています
- 2021年2月に国際会計事務所グループである「SCS-Invictus Holdings Pte. Ltd.」と覚書を締結し、幅広い領域で、お客様のニーズにあわせて現地でサポートできるような体制としています



三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

www.murc.jp/

